

ステアリングチームの設置及び今後の進め方

1. ステアリングチームの設置目的・人員構成
 - NRA との意思疎通を確実にするとともに、ヒアリング結果を踏まえた検討の実施を促し、論点を捉えたヒアリング資料を作成する。
 - 人員構成は、日本原燃 決得副事業部長をチーム長とし、当面は、今村、石原及び電力支援者として関西電力より野元、石黒とする。
2. ステアリングチームの役割
 - ステアリングチームの主な役割を以下の通りとする。
 - (1) ヒアリングにおける論点整理
 - ✓ ヒアリング冒頭での目的、達成目標の説明
 - ✓ ヒアリング中の NRA 発言主旨の確認、事業者側が理解しているかの確認
 - ✓ ヒアリング終了時のコメント確認（振り返り）
 - (2) ヒアリング資料への関与
 - ✓ 回答の方向性について意見出しを行う、回答資料が NRA のコメントの主旨に沿っているかの確認（読みやすさ含む）
 - ✓ 資料が目的を達成できていない、あるべき姿になっていない場合は、資料提出日の再設定を調整
 - (3) 個別内容確認
 - ✓ NRA 担当官とコメントの主旨確認、回答方針の方向性がずれていないかの確認
3. 今後の進め方
 - ステアリングチームを参画させたヒアリング等を軌道に乗せるまでに時間を要することも考慮し、まずは以下のアイテムでヒアリング等を進めていく。
 - ①地盤（入力地震動の策定）
 - ②共通 1 2（資料の目的、骨格、資料記載内容等の全体整理は MOX で進める。再処理としては MOX での整理の際に再処理に適応できることを確認。MOX での骨格や資料記載内容等の方針が整った段階で再処理の竜巻防護対策設備等に係る資料作成を行う。）
 - ③重大事故（重大事故として整理すべき事項をこれまでのヒアリング等の内容を踏まえて全体の進め方をまずは整理）
 - これまでコメント対応を中心に行っていた溢水・薬品については、達成目標をしっかりと定め資料の目的、達成目標などを整理する作業を実施し、上記項目が一定程度軌道に乗った時点で資料提出、ヒアリングを設定する。

以 上